

東三河支部

第4回豊橋駅前クリーンアップ大作戦に参加 街の美化活動に貢献

主催/530運動環境協議会

東三河支部（松井忠博支部長）は5月28日（土）530（ゴミゼロ）運動環境協議会主催の第4回豊橋駅前クリーンアップ大作戦に、松井支部長、委員ら支部会員26名が参加し、駅前の清掃作業を行いました。

豊橋市は530（ゴミゼロ）運動の発祥の地で、同協議会には市民団体やNPO、豊橋商工会議所青年部、豊橋市職員など26団体が加盟し、東三河支部も登録しています。



同協議会は加盟団体に呼びかけ、豊橋駅前クリーンアップ大作戦のほか、汐川干潟クリーンアップ大作戦も実施し、地域の環境保全に取り組んでおり、今回は第4回目となります。

当日は午前8時に豊橋駅前のペテストリアンデッキに、加盟団体の参加者300名が集まりました。セレモニーでは同協議会会長の匹田雅八氏の開催挨拶があり、その後事務局からごみの収集方法や清掃範囲について説明があり、参加者全員にごみ収集用



支部会員の社員、ご家族など26名が清掃作業に参加

のビニール袋と手袋が支給されました。

参加者は駅前のデッキや広場、1階に降りて歩道や周辺の商店街へと広がり、駅前一带で清掃作業を行いました。

朝から晴天に恵まれ、グループで参加された人や親子で参加された人、職場の仲間と参加された人など、たくさんの人が駅前に広がり、緑の植え込みや歩道、路肩などに捨てられたごみをビニール袋に拾い集めていました。

ごみは燃えるごみとペットボトル、ビン、缶の資源ごみの2種類に分けて収集し、デッキの指定場所に持ち込みました。

支部会員の中には新入社員6名を含め14名のグループで参加された企業もありました。

清掃作業は1時間ほどで終わり、地域の環境保全に貢献できました。



デッキ、ロータリー、歩道、緑の植え込みなど駅前一带でごみ収集

